

学校教育目標：「向学 自立 協働」 校訓：「夢を実現」



川通中だより

～スローガン：「一生懸命はかっこいい」～

令和8年1月8日 第9号
さいたま市立川通中学校
TEL 048(799)1061
川中キャラクター ホームページ



「時代とともに」

校長 鈴木 純

新年早々の初雪。澄み切った青空に映える富士山。冬本番です。「新年明けましておめでとうございます」今年は、馬が力強く走る様子から、「躍動、飛躍、向上できる川通中」を目指し、教職員一同手を携えて、生徒たちの指導・支援に精一杯力を注いでいきたいと存じます。よろしくお願ひいたします。また、保護者・地域のみなさま、昨年と変わりなく本校へのご理解ご協力を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

さて、文化庁国語科の令和6年度「国語に関する世論調査」について、興味深い調査結果がありました。その中で、特に「言葉の使い方」に対して、全体の約8割の人が「気を使っている」と答えており、コミュニケーションを構築する上で、「改まった場にふさわしい言葉づかいをすることが大切である」と、全世代が意識していることがわかりました。

「SNS利用について」の調査では、7割台半ばの人がSNSを利用しており、8割台半ばの人が、仲間内や一対一でSNSのメッセージ送信等を行っています。利点として、「都合のいい時間にやり取りができる」ことが一番で、その反面、約5割の人が、仲間内や一対一での、SNSのメッセージ送信等で戸惑ってしまったり、やり取りが面倒に感じてしまったりすることがあると答えています。その他、「不特定多数に向けたSNSのコメントや投稿等で感じる利点」として、「趣味や価値観が似ている人たちと交流しやすい」と回答した人が6割台と最も高い数値でした。

SNSの普及による「文字や語句、言葉の使い方」については、「社会において影響があると思う」と答えた人が約9割。「文字や語句に及ぼす影響」では、「略語が増える」と約8割の人が回答しています。このようなことから、短い言葉でのやり取りが増えることで、自らの正しい思いがうまく伝わらないのではないかという危惧を覚えました。

また、「敬語の必要性」について、9割台の人が「必要だと思う」と答えています。理由として、「相手を尊敬する気持ちを表せるから」と7割台の人が、次いで、「表現がやわらかく、人間関係を円滑にすることができるから」と6割台の人が答えています。このように「敬語」は、人間関係を円滑にするための重要な「言葉づかい」であることがわかります。

そして、情報機器に関わる言葉や、SNSを中心に使われるようになった言葉で、新しい意味や使い方が辞書に記載してきた5つの言葉（「家電（いえでん）」「映（ば）える」「課金する」「ポチる」「エモい」）について、「気になるか、気にならないか」の調査では、「気にならない」と答えた人の割合は、「家電」「映える」「課金する」が約8割、「ポチる」が約7割、「エモい」が約6割となっています。年齢別では、どの言い方においても、「気にならない」を選択した人の割合が70歳以上で、他の年齢層より低くなっています。「ポチる」「エモい」は、おおむね年齢が高いほど「気にならない」割合が低くなっています。

以上の調査から、場に応じた言葉づかいは、安定したコミュニケーションを構築する上で「大切なもの」と感じます。伝える相手によって上手に使い分けること、スタンダードを理解していることが、時代とともに変化する言葉と共に存する術ではないでしょうか。

話変わって、SNSに関連する新聞記事があったので紹介します。（出典：朝日新聞）

①高校3年生の女性のつぶやき…みんなの話題をチェックできているか。「いいね」をするのが遅れてないか。「正直、疲れているんですよね」。学年、部活や係、小中学校の友達、趣味、勉強仲間……。一覧と呼ぶ、40近いアカウントを持つ。グループごとにキャラや言葉づかいを分け、仲間外れにならないよう気を配る。ほかにもアイドルの「推し活」、将来のための投資の勉強、友人と互いの位置情報を共有するSNSも。情報量に追いつかないし抜けることもできない。「本音を言うとスマホがない時代に生きたかった」。接続時間は1日19時間。

②大学を卒業し社会人1年生となりスマホを手放した女性……スマホを心臓のように感じていた。遊園地に行っても、食べたアイス、乗った観覧車やメリーゴーランド、片っ端からSNSに投稿した。カフェでひとりなのに2人分頼んで「友達とお茶」。恋人はいないのに、彼氏とのデートを装って自撮り。洋服店の試着室で、買わない服を次々に身に付けて投稿。「万引きと同じだろ」等の批判するコメントが殺到し炎上。「何が何でも更新する。まわりの迷惑は考えない。善悪の判断すら危うくなっていた」…。

時代とともに大きく変化していくものとして、「言葉づかい」を挙げましたが、スマホも時代とともに大きく変化しているツールだと思います。この記事は極端な例かもしれません、現在直面している大きな課題だと考えます。インターネットの扱い方、SNSの扱い方は度が過ぎると「依存症」となり大変なことになりかねませんし、ともすれば、名譽を傷つけることになり、犯罪のきっかけにもなりかねません。物事の本質を十分理解し、前述の「言葉づかい」と同様に上手に使うことが肝要だらうと考えます。